



## 平成22年6月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成22年5月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 フジコー  
コード番号 2405 URL <http://www.fujikoh-net.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長  
四半期報告書提出予定日 平成22年5月14日  
配当支払開始予定日 —

(氏名) 小林 直人  
(氏名) 清水 周二

TEL 03-3841-5431

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年6月期第3四半期の業績(平成21年7月1日～平成22年3月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年6月期第3四半期	1,205	—	97	—	32	—	15	—
21年6月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—
1株当たり四半期純利益			潜在株式調整後1株当たり四半期純利益					
22年6月期第3四半期	円 銭		円 銭		円 銭		円 銭	
21年6月期第3四半期	143.50		136.79		—		—	

(注)21年6月期第3四半期につきましては、連結として開示したため、21年6月期第3四半期は記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
22年6月期第3四半期	百万円 3,015	百万円 766	% 25.4	円 銭 6,991.74
21年6月期	3,334	750	22.5	6,848.24

(参考) 自己資本 22年6月期第3四半期 765百万円 21年6月期 749百万円

### 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
21年6月期	円 銭 —				
22年6月期	—	—	—	—	—
(予想)	—	—	—	—	—

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成22年6月期の業績予想(平成21年7月1日～平成22年6月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,610	0.5	150	—	50	—	25	—	228.31

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年6月期第3四半期	109,500株	21年6月期	109,500株
② 期末自己株式数	22年6月期第3四半期	—株	21年6月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年6月期第3四半期	109,500株	21年6月期第3四半期	109,500株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる場合があります。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 経営成績に関する定性的情報

※当社は第1四半期累計期間より、連結対象となる子会社がありませんので四半期連結財務諸表を作成しておりません。これにより当第3四半期累計期間において比較、分析に用いた前年同四半期累計期間に対応する数値は、独立監査人による四半期レビューを受けていないため、前年同期比較に関する情報は参考として記載しております。

当第3四半期累計期間におきまして、建設系廃棄物を取り巻く事業環境は、新設住宅着工戸数が大幅に落ち込み、解体工事件数も減少するなど依然として厳しい状況が続いておりますが、廃棄物受入数量の安定化に努めてまいりました。具体的には建設業以外の取引先拡大並びに一般廃棄物の受入強化に注力した結果、取引先のご支持を得て、計画を上回る受入数量を確保することができました。全般的には解体工事、新築廃棄物の収集運搬売上が減少しているため、売上高は概ね計画通りでありましたが、廃棄物の受入売上は計画を上回る数値で推移しております。新規取引先につきましては今期も順調にご契約いただき、現在の取引先社数は700社を超えております。本期の新規取引先社数は242社、1社当たりの平均取引金額は412千円、当該取引先の売上金額は101百万円となり、期首の計画通り堅調に推移しております。また、前期に契約しました新規取引先につきましても本期の取引金額は200百万円を超えており、着実に取引が継続しておりますので、売上高の増加に寄与しております。加えて、受入廃棄物に占める非建設系廃棄物の割合も増加しておりますので、外部環境に影響を受けず、各施設の稼働率も安定的に推移するものと予測しております。

また、重要な経営課題でありました有利子負債の返済方法につきましては、継続的に計上しております営業キャッシュ・フローを返済原資とする計画に関して、各金融機関と協議を行ってまいりましたが、平成22年3月末に全ての金融機関から返済額及び返済方法の変更に関する同意書を受領しております。その結果、有利子負債の元金及び利息の支払い並びに設備投資に関する割賦未払金、ファイナンスリース未払金の返済合計金額は、経常収支見込み金額の概ね75%前後の水準であり、抜本的な財務体質の改善となりました。

これらの結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高1,205百万円（前年同期比2.2%増）でしたが、売上原価及び販売管理費の削減に努め、収益構造の改善に取り組んだ結果、営業利益は97百万円（前年同期は14百万円の営業損失）、経常利益は32百万円（前年同期は85百万円の経常損失）、四半期純利益は15百万円（前年同期は109百万円の当期純損失）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	売上高	構成比	前年同期比
建設系リサイクル事業	878,647千円	72.9%	105.3%
食品系リサイクル事業	199,768千円	16.6%	96.7%
その他事業	127,478千円	10.5%	91.8%
合計	1,205,895千円	100.0%	102.2%

#### (建設系リサイクル事業)

建設系リサイクル事業は、外部環境が厳しい状況が継続しておりますので、建設業以外から発生する廃棄物の受入数量増加に向け、既存取引先の紹介を含め新規取引先の拡大に努めてまいりました。その結果、第2四半期以降、非建設系廃棄物の構成割合は増加傾向で推移しております。焼却、発電施設の受入数量は前年同期比で15.7%の増加となりましたが、受入平均単価は5.7%低下しております。がれき類等のその他廃棄物は建設工事から発生する廃棄物が大部分を占めておりますので、受入数量は6.6%の減少となりましたが、受入平均単価は8.1%上昇しております。発電施設は売電単価の改定等により、売上高は前年同期比21.1%増、売上総利益は90.4%増となりました。その他施設につきましても稼働率の向上と修繕費、減価償却費等の原価低減により、売上総利益は前年同期比で大幅に改善しております。

これらの結果、当第3四半期累計期間の売上高は878百万円（前年同期比5.3%増）、営業利益は205百万円（前年同期比62.5%増）となりました。

**(食品系リサイクル事業)**

食品系リサイクル事業は、将来の受入数量拡大に向け、リキッド飼料を利用した養豚試験に注力してまいりました。茨城県で開業準備を進めております鉢田ファームでの肥育頭数も順調に増加しており、平成22年3月末現在で250頭を超えております。現在は肥育に向けた子豚が中心であります。平成22年6月以降、当社で製造したリキッド飼料による肥育養豚の出荷を見込んでおり、業務提携先であるエスシーエス㈱とともに飼料化原料の受注拡大を進めております。輸入飼料の高騰等により、飼料化向けの原料である食品循環資源は価格競争等も発生している状況でありますが、既存取引先の受入数量増加及び新規取引先の拡大に努めてまいります。

これらの結果、当第3四半期累計期間の売上高は199百万円（前年同期比3.3%減）、営業利益は養豚試験に関する費用として15百万円を計上したため53百万円（前年同期比5.1%増）となりました。

**(その他事業)**

その他事業は、解体工事の受注件数が減少したものの、外注費の削減等により営業利益は回復しております。白蟻工事につきましては既存工事の受注件数が計画通り推移しております。

これらの結果、当第3四半期累計期間の売上高は127百万円（前年同期比8.2%減）、営業利益は15百万円（前年同期比143.7%増）となりました。

**2. 財政状態に関する定性的情報****(1) 資産、負債及び純資産の状況**

当第3四半期会計期間末の総資産は前連結会計年度末と比較して319百万円減少し、3,015百万円となりました。主な増減要因として、流動資産については有利子負債の返済により現預金が107百万円減少し、売上高の増加により売掛金が3百万円増加しております。固定資産については減価償却等により228百万円減少しております。負債については借入金の返済及び社債の償還等により、334百万円の減少となりました。純資産については四半期純利益の計上により15百万円増加し、766百万円となりました。

**(2) キャッシュ・フローの状況**

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物は、44百万円となりました。当第3四半期累計期間における活動毎のキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

**(営業活動によるキャッシュ・フロー)**

営業活動の結果得られた資金は191百万円となりました。これは主に減価償却費211百万円の収入と税引前四半期純利益1百万円の計上によるものであります。

**(投資活動によるキャッシュ・フロー)**

投資活動の結果使用した資金は15百万円となりました。これは主に有形固定資産の売却による23百万円の収入と有形固定資産の取得による38百万円の支出によるものであります。

**(財務活動によるキャッシュ・フロー)**

財務活動の結果使用した資金は283百万円となりました。これは主に短期借入れ、長期借入れによる154百万円の収入と長期借入金、割賦未払金等の返済による437百万円の支出によるものであります。

### 3. 業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、概ね計画通り推移しております。現在の取り組みを強化することによりにより、外部環境に影響を受けない安定的な受入数量の確保に努め、業績の回復を目指しております。

現時点におきまして、平成22年2月10日に公表いたしました通期業績予想に変更はありません。

### 4. その他

#### (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

##### 固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却費の方法として定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

#### (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

#### (3) 繼続企業の前提に関する重要な事象等

当社は、前事業年度において、当社の主たる事業である建設廃棄物処理業を取り巻く事業環境が悪化したこと等により、経常損失133,186千円及び当期純損失148,338千円を計上しております。また、金融機関への借入金返済予定額及び社債償還見込額は手元流動性及び営業キャッシュ・フローに比して高水準な状況であり、このうち一部借入契約については契約に規定された財務制限条項に抵触しておりました。

当該状況により、当社には、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況を解消すべく、具体的な施策といたしまして、①新規取引先及び取引業種の拡大、②食品系リサイクル事業の営業黒字の拡大、③一般廃棄物の受入強化、④業務提携による営業体制の強化等、経営計画の達成に向けた施策の実行に取り組んでまいりました。

これらの取り組みに注力した結果、廃棄物の受入数量は増加傾向で推移しており、原価及び販売管理費の低減に努めた結果、当第3四半期累計期間においては15百万円の四半期純利益を計上しており、当事業年度においても純利益を計上する見込みであります。今後も取引先社数の増加を進めるとともに、一般廃棄物の受入強化等、取引業種の拡大に注力することにより、外部環境に影響を受けない収益構造の構築に努めてまいります。

また、当第3四半期会計期間において、取引金融機関の皆様より金融債務の返済金額並びに返済期間の変更に関する再建計画書に対する同意書を受領するとともに一部の借入契約に規定された財務制限条項の抵触を解消いたしました。これにより今後の借入金返済につきましては、現状の営業キャッシュ・フローを返済原資とした返済額並びに返済期間の変更に関する契約を締結しております。

今後も経営計画達成に邁進し、経常損益の継続的な黒字化、営業キャッシュ・フローの向上及び財務体质の改善を進めることにより、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

5. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期会計期間末  
(平成22年3月31日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	44,516
受取手形及び売掛金	170,056
原材料及び貯蔵品	4,013
その他	53,372
貸倒引当金	△4,132
流動資産合計	267,824
固定資産	
有形固定資産	
建物	1,503,141
減価償却累計額	△390,480
建物（純額）	1,112,660
構築物	254,818
減価償却累計額	△138,609
構築物（純額）	116,209
機械及び装置	2,450,980
減価償却累計額	△1,316,256
機械及び装置（純額）	1,134,724
車両運搬具	41,417
減価償却累計額	△37,861
車両運搬具（純額）	3,555
工具、器具及び備品	32,460
減価償却累計額	△26,890
工具、器具及び備品（純額）	5,570
土地	318,400
建設仮勘定	3,633
有形固定資産合計	2,694,754
無形固定資産	
その他	7,667
無形固定資産合計	7,667
投資その他の資産	
関係会社株式	35
その他	46,985
貸倒引当金	△1,524
投資その他の資産合計	45,496
固定資産合計	2,747,918
資産合計	3,015,742

(単位：千円)

当第3四半期会計期間末  
(平成22年3月31日)

負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	68,228
1年内返済予定の長期借入金	131,253
短期借入金	50,000
未払金	127,652
未払法人税等	2,314
その他	42,498
流動負債合計	421,947
固定負債	
長期借入金	1,687,805
長期未払金	125,013
その他	14,887
固定負債合計	1,827,707
負債合計	2,249,654
純資産の部	
株主資本	
資本金	190,375
資本剰余金	311,235
利益剰余金	263,985
株主資本合計	765,595
新株予約権	493
純資産合計	766,088
負債純資産合計	3,015,742

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

当第3四半期累計期間  
(自 平成21年7月1日  
至 平成22年3月31日)

売上高	1,205,895
売上原価	915,806
売上総利益	290,089
販売費及び一般管理費	193,006
営業利益	97,082
営業外収益	
受取利息	28
金利スワップ評価益	817
パークゴルフ入場料	4,494
受取家賃	4,200
その他	631
営業外収益合計	10,172
営業外費用	
支払利息	62,410
支払手数料	7,439
その他	4,851
営業外費用合計	74,701
経常利益	32,553
特別利益	
固定資産売却益	1,130
特別利益合計	1,130
特別損失	
固定資産売却損	859
固定資産除却損	641
貸倒引当金繰入額	14
貸倒損失	5,614
事業構造改善費用	24,644
その他	895
特別損失合計	32,670
税引前四半期純利益	1,013
法人税、住民税及び事業税	2,039
法人税等調整額	△16,739
法人税等合計	△14,699
四半期純利益	15,713

(第3四半期会計期間)

(単位：千円)

当第3四半期会計期間  
 (自 平成22年1月1日  
 至 平成22年3月31日)

売上高	373,697
売上原価	293,285
売上総利益	80,412
販売費及び一般管理費	60,602
営業利益	19,809
営業外収益	
受取利息	9
金利スワップ評価益	295
パークゴルフ入場料	1,407
受取家賃	2,400
その他	35
営業外収益合計	4,147
営業外費用	
支払利息	18,502
支払手数料	2,651
その他	1,543
営業外費用合計	22,696
経常利益	1,260
特別利益	
貸倒引当金戻入額	15
固定資産売却益	85
特別利益合計	101
特別損失	
固定資産売却損	859
事業構造改善費用	14,644
その他	385
特別損失合計	15,889
税引前四半期純損失(△)	△14,528
法人税、住民税及び事業税	460
法人税等調整額	△10,923
法人税等合計	△10,462
四半期純損失(△)	△4,065

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第3四半期累計期間  
(自 平成21年7月1日  
至 平成22年3月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	1,013
減価償却費	211,291
支払手数料	5,250
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△3,224
金利スワップ評価損益（△は益）	△817
受取利息及び受取配当金	△28
支払利息	62,410
有形固定資産売却損益（△は益）	△271
固定資産除却損	641
貸倒損失	5,614
賞与引当金の増減額（△は減少）	5,817
売上債権の増減額（△は増加）	△3,671
破産更生債権等の増減額（△は増加）	5,499
新株発行費	253
たな卸資産の増減額（△は増加）	△1,864
仕入債務の増減額（△は減少）	156
未払金の増減額（△は減少）	7,632
未払消費税等の増減額（△は減少）	△24,500
その他	△14,621
小計	256,581
利息及び配当金の受取額	45
利息の支払額	△61,953
法人税等の支払額	△2,809
営業活動によるキャッシュ・フロー	191,864
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△23,437
定期預金の払戻による収入	23,437
有形固定資産の取得による支出	△38,794
有形固定資産の売却による収入	23,197
関係会社の整理による収入	200
貸付けによる支出	△1,200
貸付金の回収による収入	1,340
その他	61
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,195

(単位：千円)

当第3四半期累計期間  
 (自 平成21年7月1日  
 至 平成22年3月31日)

財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額（△は減少）	20,000
長期借入れによる収入	134,062
長期借入金の返済による支出	△162,223
社債の償還による支出	△185,000
割賦債務の返済による支出	△82,163
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△8,601
財務活動によるキャッシュ・フロー	△283,925
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△107,256
現金及び現金同等物の期首残高	151,772
現金及び現金同等物の四半期末残高	44,516

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(参考) 1 連結財務諸表  
 連結貸借対照表  
 (前連結会計年度末)

(単位：千円)

前連結会計年度末に係る  
 要約連結貸借対照表  
 (平成21年6月30日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	151,772
受取手形及び売掛金	166,385
原材料及び貯蔵品	2,148
繰延税金資産	1,892
その他	38,169
貸倒引当金	△1,983
流動資産合計	358,384
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物	1,749,944
減価償却累計額	△472,520
建物及び構築物（純額）	1,277,423
機械装置及び運搬具	2,501,927
減価償却累計額	△1,225,092
機械装置及び運搬具（純額）	1,276,835
土地	313,515
建設仮勘定	25,148
その他	32,921
減価償却累計額	△26,230
その他（純額）	6,690
有形固定資産合計	2,899,613
無形固定資産	9,822
投資その他の資産	
投資有価証券	235
その他	73,585
貸倒引当金	△6,897
投資その他の資産合計	66,922
固定資産合計	2,976,359
資産合計	3,334,743

(単位：千円)

前連結会計年度末に係る  
要約連結貸借対照表  
(平成21年6月30日)

負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	68,071
短期借入金	30,000
1年内返済予定の長期借入金	415,440
1年内償還予定の社債	155,000
未払金	161,504
未払法人税等	2,614
その他	74,686
流動負債合計	907,317
固定負債	
社債	120,000
長期借入金	1,341,779
長期未払金	201,288
繰延税金負債	2,414
その他	11,822
固定負債合計	1,677,304
負債合計	2,584,621
純資産の部	
株主資本	
資本金	190,375
資本剰余金	311,235
利益剰余金	248,272
株主資本合計	749,882
新株予約権	240
純資産合計	750,122
負債純資産合計	3,334,743

## 2 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結損益計算書

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成21年3月31日)
売上高	1,179,890
売上原価	993,065
売上総利益	186,824
販売費及び一般管理費	201,357
営業損失(△)	△14,532
営業外収益	
受取利息	212
法人税等還付加算金	27
助成金収入	1,605
金利スワップ評価益	673
保険解約返戻金	1,410
パークゴルフ利用料	3,373
その他	498
営業外収益合計	7,800
営業外費用	
支払利息	64,372
有価証券売却損	707
支払手数料	7,249
その他	6,482
営業外費用合計	78,812
経常損失(△)	△85,544
特別利益	
固定資産売却益	11,502
受取保険金	1,815
特別利益合計	13,317
特別損失	
固定資産売却損	20,491
固定資産除却損	615
貸倒引当金繰入額	6,463
特別損失合計	27,569
税金等調整前四半期純損失(△)	△99,797
法人税、住民税及び事業税	1,018
法人税等調整額	8,858
法人税等合計	9,877
四半期純損失(△)	△109,674

(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

前第3四半期連結会計期間  
 (自 平成21年1月1日  
 至 平成21年3月31日)

売上高	383,278
売上原価	323,148
売上総利益	60,129
販売費及び一般管理費	55,993
営業利益	4,135
営業外収益	
受取利息	65
金利スワップ評価益	565
保険解約返戻金	1,410
パークゴルフ利用料	1,160
その他	261
営業外収益合計	3,463
営業外費用	
支払利息	20,975
支払手数料	2,483
その他	2,093
営業外費用合計	25,552
経常損失(△)	△17,953
特別利益	
固定資産売却益	826
貸倒引当金戻入額	4,171
特別利益合計	4,998
税金等調整前四半期純損失(△)	△12,954
法人税、住民税及び事業税	162
法人税等調整額	516
法人税等合計	678
四半期純損失(△)	△13,633

(2) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書  
(前第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

前第3四半期連結累計期間  
(自 平成20年7月1日  
至 平成21年3月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失（△）	△99,797
減価償却費	244,513
支払手数料	5,250
貸倒引当金の増減額（△は減少）	8,322
賞与引当金の増減額（△は減少）	5,928
受取利息及び受取配当金	△212
支払利息	64,372
金利スワップ評価損益（△は益）	△673
有形固定資産売却損益（△は益）	8,988
固定資産除却損	615
売上債権の増減額（△は増加）	20,099
破産更生債権等の増減額（△は増加）	△12,696
たな卸資産の増減額（△は増加）	△523
仕入債務の増減額（△は減少）	△13,806
未払金の増減額（△は減少）	△1,421
未払消費税等の増減額（△は減少）	42,085
その他	△3,793
小計	267,251
利息及び配当金の受取額	210
利息の支払額	△64,229
法人税等の支払額	△2,198
営業活動によるキャッシュ・フロー	201,034
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の払戻による収入	1,861
有形固定資産の取得による支出	△41,350
有形固定資産の売却による収入	44,726
投資有価証券の売却による収入	9,135
投資活動によるキャッシュ・フロー	14,372
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	54,000
長期借入れによる収入	799,000
長期借入金の返済による支出	△732,652
社債の償還による支出	△155,000
割賦債務の返済による支出	△101,685
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△7,956
財務活動によるキャッシュ・フロー	△144,294
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	71,112
現金及び現金同等物の期首残高	62,420
現金及び現金同等物の四半期末残高	133,533